

北見赤十字病院 眼科選択研修プログラム

(1) プログラムの名称

北見赤十字病院眼科選択研修プログラム（1～2年次 自由選択）

(2) プログラムの目的と特徴

研修を通し、基本的な眼科検査（細隙灯顕微鏡検査、眼底検査）、救急処置の技術、知識を習得する。

角膜、水晶体、網膜硝子体手術、救急疾患など幅広い疾患の技術、知識を習得できる。

(3) プログラム責任者

齋 藤 美 和 （眼科医師）

(4) 研修目標

1) 行動目標

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの行動目標の達成に努める。

基本的な眼科検査（細隙灯顕微鏡検査、眼底検査）、救急処置が確実にできる。

2) 経験目標

人間ドックでの診察 40 名、外来、病棟診察 40 名、顕微鏡手術の助手として
40 例

(5) 研修計画

	午 前	午 後
月	病棟カンファレンス、病棟診察見学。 カルテへの記載、slit lamp, 眼底検査 について指導を受け、習得後、セレクト された再診患者の診察、カルテへの記 載。初診患者への問診。	slit lamp, 眼底検査の指導を受け、 練習、ドックの診察。セレクトされた 再診患者の診察。光凝固の見学。 指導を受け、練習後、術後患者視力測 定。
火	病棟カンファレンス参加。 slit lamp, 眼底検査の指導を受け、練 習。	手術の見学、洗眼、介助、執刀など。 指導を受け、練習後、術後患者視力測 定。救急疾患の指導を受ける。
水	病棟カンファレンス参加。 手術の見学、洗眼、介助、執刀など。 術後回診の見学、診察。病棟受診患者へ の問診、診察、カルテへの記載。	手術の見学、洗眼、介助、執刀など。 指導を受け、練習後、ドックの眼底写 真の判読。 入院患者カルテへの記載。
木	手術の見学、洗眼、介助、執刀など。 初診患者への問診。 セレクトされた再診患者さんの診察、カ ルテへの記載。	眼底検査、slit lamp, 眼圧測定、隅角 検査の指導後、術後回診の見学、診察。 未熟児の診察、未熟児網膜症の光凝固 の見学。
金	病棟カンファレンス参加。 再診患者への問診、診察、カルテへの記 載。術後回診の見学、診察。	初診患者への問診、診察。 術後患者視力測定。 光凝固の見学。

①病棟研修

上級医、指導医の指示に従い、入院患者を受け持ち、基本的な診察法、検査法、治療法を研修する。退院時サマリーを責任指導医に提出する。病棟カンファレンスなど他職種とのカンファレンスに参加する。

②外来研修

問診を行い、鑑別診断の能力を養う。

上級医、指導医の指示に従い、外来患者を受け持ち、迅速で正確な判断力を身につける。

③救急研修

初期診療に必要な救急処置、検査等を研修する。

全館当直・オンコール救急当番を当直医、上級医、指導医、救急救命当直医の指導のもと実施する。

全館当直は月に1-2回程度、オンコール救急当番は週に1-2回程度の回数とする。

④カンファレンスや教育研修委員会主催の講演会など

眼科勉強会、研修会、オホーツク眼科研究会、合同カンファレンス、教育研修委員会主催の講演会、勉強会などに出席し研修内容の充実を図る。

(6) 指導体制

1) 指導医

齋 藤 美 和 (眼科医師)

2) 指導体制の概要

指導医が主に指導、また、必要に応じて上級医の指導も仰ぐ。

(7) 研修の評価

北見赤十字病院初期臨床研修プログラムの規定に順ずる。